

令和7年11月 京都市役所環境政策局 環境保全創造課

## クビアカツヤカミキリの被害拡大防止について

サクラなどの木を枯らす、<u>特定外来生物クビアカツヤカミキリの被害木が、今年9月に</u> **深草祓川町で確認**されました。

クビアカツヤカミキリの被害拡大を防ぐため、まわりのバラ科樹木(サクラ、ウメ、モモ等)に、<u>幼虫が侵入した形跡(フラス)がないかご注意</u>いただき、もし疑わしい木がありましたら、京都市に情報提供いただけますと幸いです。

ご協力賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

## クビアカツヤカミキリとは?



サクラ、ウメ、モモなどバラ科の木の中を食い荒らし、枯らしてしまう特定外来生物。 毒などはなく、人への直接の被害はない。

非常に高い繁殖力を持ち、成虫は6~8月の間、羽化してサクラなどに卵を産む。 幼虫は、2年ほど木の中を食べて育ち、4~10月の間フラス(フンや木くず)を出す。

木の幹からフラス (フンや木くず) が出ている様子





成虫またはフラスを発見されましたら、①~③の行動をお願いします。

- ① 成虫は踏みつぶすなどして駆除
- ② 成虫またはフラスが出ている状況の写真を撮る
- ③ 京都市環境保全創造課への情報提供
- ※ 生きたまま持ち運ぶことは法律で規制されています。

詳細はこちら↓



【問合·情報提供先】京都市役所 環境保全創造課 ☎ 075-222-3951™ k-kyosei@city.kyoto.lg.jp

回覧枠					